

<令和6年度 職員自己評価 総括>

認定こども園愛泉幼稚園

1. 園児との関わりで気付いたこと・印象的だったこと

園児との関わりを通じて、一人ひとりの個性を理解し、感情を受容するとともに、主体性を尊重することが成長を支える基盤であることを改めて確認しました。また、日々における些細な変化や挑戦を共に喜ぶことで、信頼関係を構築することの重要性を実感しました。さらに、子どもの発想力や行動力から保育者自身も学びを得ており、相互的な成長につながる関係性を形成しました。

2. 園児との関わりで改善したこと・行動したこと

園児との関わりの中で改善したのは、「一人ひとりの気持ちに寄り添い、声をかける・待つ・認めることで主体性を引き出す姿勢」でした。また、肯定的な言葉掛けや柔軟な対応を意識することで、子どもの自信や成長を支えることができました。さらに、集団や個別の場面での関わり方を工夫し、体力づくりや生活習慣の基盤も整えるなど、幅広い視点からの取り組みを行いました。

3. 園児との関わりで来年度チャレンジしたいこと

来年度は、「一人ひとりに寄り添いながら、子どもの主体性を尊重し、保育者自身も挑戦する姿を見せる」ことを軸に据えました。また、保育者同士が協力して安心感のある環境を築き、子どもも保育者も共に成長できる一年を目指すことを共通の目標としました。

4. 保護者との関わりで気付いたこと・印象的だったこと

保護者との関わりを通じて、「日々の丁寧なコミュニケーション」「安心を与える伝え方」「受容と共感の姿勢」が、信頼関係を築く上で不可欠であることを改めて確認しました。子どもの成長を共有し合い、保護者と園が同じ方向を向いて協力することで、子どもにとってより良い環境が生まれることを実感しました。

5. 保護者との関わりで今後、また来年度気を付けること

来年度は、「保護者の声に丁寧に耳を傾け、寄り添う姿勢を持ちながら、安心と信頼を与えられる対応を心がけること」を大きなテーマとしました。挨拶や笑顔といった日常の小さな積み重ねを大切にしつつ、伝え方・態度・情報管理に一層配慮することで、保護者との信頼関係をさらに深めていきたいとしました。

6. 園の組織の一員として、気付いたこと・印象的だったこと

園の組織は、個々の先生の思いやり・協力・コミュニケーションによって成り立っており、子どもたちへの愛情や主体性重視の保育が根底にあることを確認しました。自分自身も積極的に関わり、報連相を大切にすることで、組織全体の一員として力を発揮できることを学びました。また、チーム力や感謝の気持ちが園全体の成長と職場の雰囲気向上に直結することを実感しました。

<令和6年度 職員自己評価 総括>

認定こども園愛泉幼稚園

7. チーム、また他の先生方との関わりで気付いたこと・印象的だったこと

先生方との関わりを通して、コミュニケーション・協力・感謝・思いやりの大切さを学んだ一年にしました。チームで助け合い、情報を共有し合うことで、子どもたちにとってより良い環境を作り出すことができると実感しました。また、後輩への関わりや新しい学年・業務への挑戦を通して、自身の成長の機会も多く得ました。全体として、温かく協力的な職場文化が、保育の質やチームの一体感に直結していることを印象的に感じました。

8. チーム、他の先生方との関わりを更に良くするために今後すること

今後は、積極的なコミュニケーション・情報共有・思いやりの実践・自己成長・協力体制の強化を意識することで、チームとしての一体感をさらに高め、より良い保育環境を作っていくことを目標としました。一人ひとりが役割を果たしつつ、互いに支え合うことで、園全体の円滑な運営に繋がりたいです。

9. 今年度振り返って、ご自分の健康面での気付き・改善点は？

今年度は、体力向上・生活習慣改善・予防対策・メンタルケア・周囲への配慮が健康面での主な学びとなりました。体調不良は大きくありませんでしたが、疲れやストレスをため込まないこと、基本的な生活習慣の維持、早めの体調管理が、今後の安定した保育活動や自己の健康維持に直結することを踏まえて改善したいです。

10. 今年度、100満点で、自分に点数を付けるなら何点？

平均64点

11. 全質問を埋めて全体を眺めた時、来年度の目標はどんな目標ですか？

来年度は、子ども・保護者・同僚への寄り添いを軸に、丁寧な保育・信頼関係の構築・チームワークの強化・自己成長・健康管理・日常の心構えをバランスよく意識して過ごすことを目標としました。また、一人ひとりに目を向けつつ、チーム全体と協力しながら、笑顔あふれる保育環境をつくることを共通の目標としました。